平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	都市建築計画特論A（City & Architectural planning A ）			授業コード	M004301
担当教員名	廣田　篤彦			科目ナンバリングコード	R20205
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	建築士試験の、大学院における実務経験認定に係る意匠系のインターンシップ関連科目です。				
受講心得	講義は、映像や配布プリントを中心に説明します。資料は、演習や課題制作の際に必要となるので、毎回必ずファイリングしておくようにしましょう。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	既往研究、学会資料ほか				
関連科目	都市建築計画特論B（City & Architectural planning B ）				

授業の目的	都市・建築空間の環境や計画について学習する。
授業の概要	「環境」とは、「人間や生物の周囲にあって、意識や行動の側面で相互に作用しあうもの」を言い、精神的な豊かさと潤いのある生活に必要な評価や開発を、計画的に配置・設計していくことを総じて「環境計画」「環境デザイン」「環境保全」などと称している。環境計画は、自然環境計画と都市環境計画とに大別されるが、特に後者に関しては、社会環境と生活環境の双方を追求していく必要があることから、より美しく、快適で安全な環境の創出が求められている。本講座では、都市・建築空間の在り方を主として社会的側面から捉え、それを取り巻く現状と課題について整理する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 研究課題の設定と既往研究のレビュー	
第 2 週 ： バリアフリー(1)　誰にとっても暮らしやすい社会とは	
第 3 週 ： バリアフリー(2)　校内バリアフリーについて	
第 4 週 ： 都市と建築(1)　安藤忠雄	
第 5 週 ： 都市計画(1)　都市計画と都市施設	
第 6 週 ： 都市計画(2)　土地利用規制	
第 7 週 ： 都市と防災(1)　阪神大震災	
第 8 週 ： 都市と防災(2)　東日本大震災	
第 9 週 ： 都市と防災(3)　まちづくりと防災	

第10週： 都市と建築（2） 磯崎新	
第11週： 都市解析（1） 基本統計量	
第12週： 都市解析（2） 多変量解析	
第13週： 都市と景観（1） 景観工学	
第14週： 都市と景観（2） 夜間照明と夜景	
第15週： 課題研究の成果発表	
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	都市・建築及び環境・社会について関心を持つこと
【知識・理解】	映像や資料、課題を通して、知識・理解を深める
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	都市・建築に関わる社会での課題を理解し、それに対する対応を考える

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				

【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	20点

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	課題に対する成果の提出は必須です。
発表・その他 （無形成果）	成果はパワーポイント等での発表を必須とします。